

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

2025年9月期 第2四半期

決算説明会

浜松ホトニクス株式会社

証券コード：6965

2025年5月12日

ポイント

| FY25 上期業績

売上高1,067億円（対前年同期比+27億円）

医用・バイオ機器は金利高などの影響もあり需要回復に遅れがみられるが、半導体を中心とした産業用機器や分析用機器などで需要回復傾向にあり

営業利益107億円（対前年同期比-92億円）

販売管理費および、研究開発費が84億円増加
経費増加の主要因はM&Aであり、買収企業の収益改善を図っていく

| FY25 通期見通し

通期業績予想に変更なし

業界ごと需要の回復状況に濃淡はあるものの、現時点では概ね計画の範囲内
相互関税については直接的な影響は軽微であるが、間接的な影響は不透明
業績予想に関して相互関税の影響を精査し、合理的な算定が可能となった時点で変更する可能性あり

相互関税の影響・対応

対応方針

日本→アメリカ輸出による関税については基本的に価格に転嫁する方針で対応中
中国→アメリカ輸出分の生産については日本に移管検討中

FY25下期におけるアメリカ向け出荷見込み

		対象品 出荷額（億円）	影響
日本→アメリカ	全製品	160	
	半導体関連	90	2025.04時点で追加関税なし
	その他	70	2025.04時点で10 %の関税が加算
中国→アメリカ	—	4	2025.04時点で145 %の関税が加算

Agenda

01 | 業績概要

02 | 業績予想

03 | TOPICS

Agenda

01 | 業績概要

02 | 業績予想

03 | TOPICS

業績概要

M&Aの影響もあり増収ながら、減益

(単位：億円)

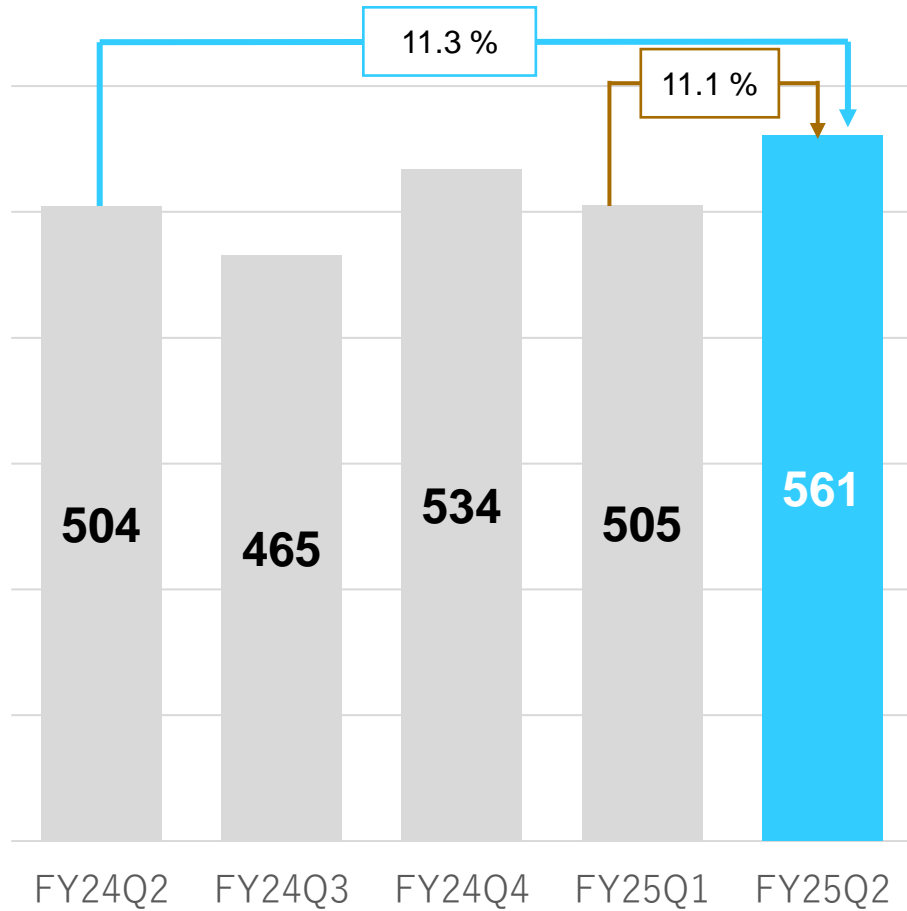
	FY24 上期	FY25 上期 (計画)	FY25 上期 (実績)
売上高	1,039	1,101	1,067
売上総利益	534 (51.4 %)	543 (49.3 %)	525 (49.3 %)
営業利益	200 (19.3 %)	121 (11.0 %)	107 (10.1 %)
EBITDA	276 (26.6 %)	224 (20.3 %)	213 (20.0 %)
当期純利益	167	92	99

前期比		計画比	
増減額	%	増減額	%
27	2.7	-33	-3.0
-8	-1.6	-17	-3.2
-92	-46.3	-13	-10.9
-63	-22.8	-11	-4.9
-68	-40.8	7	8.0

四半期推移

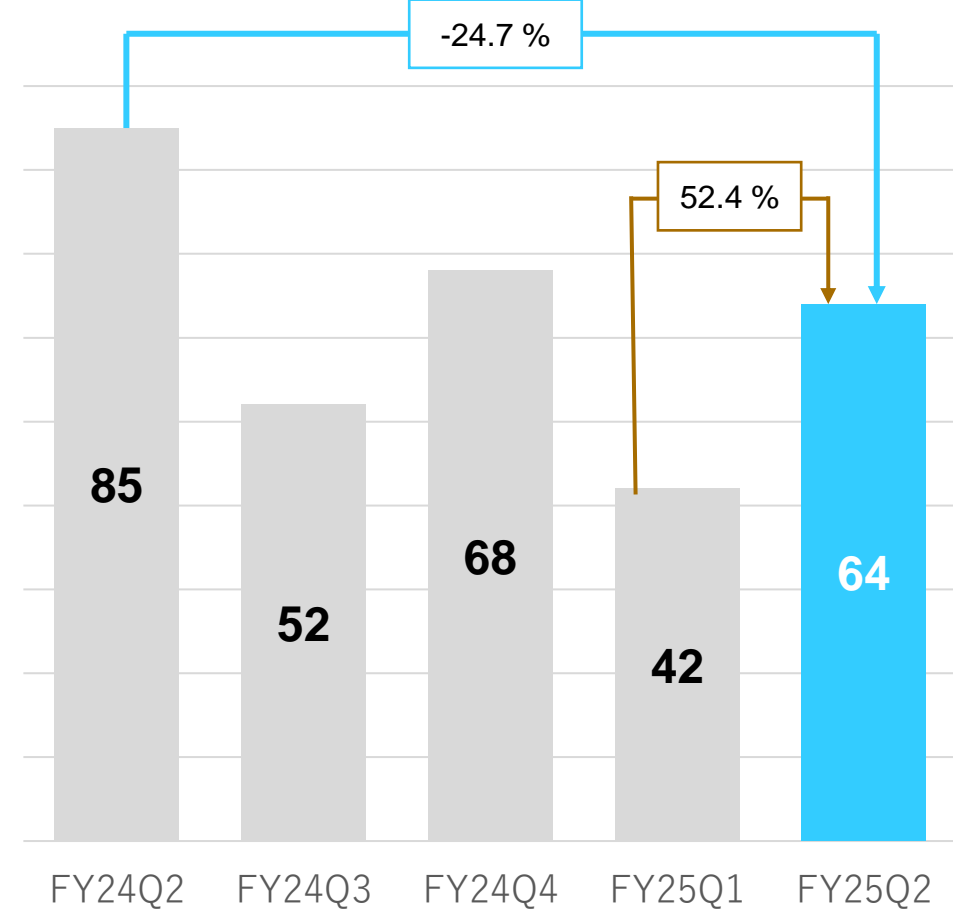
売上高

(単位：億円)

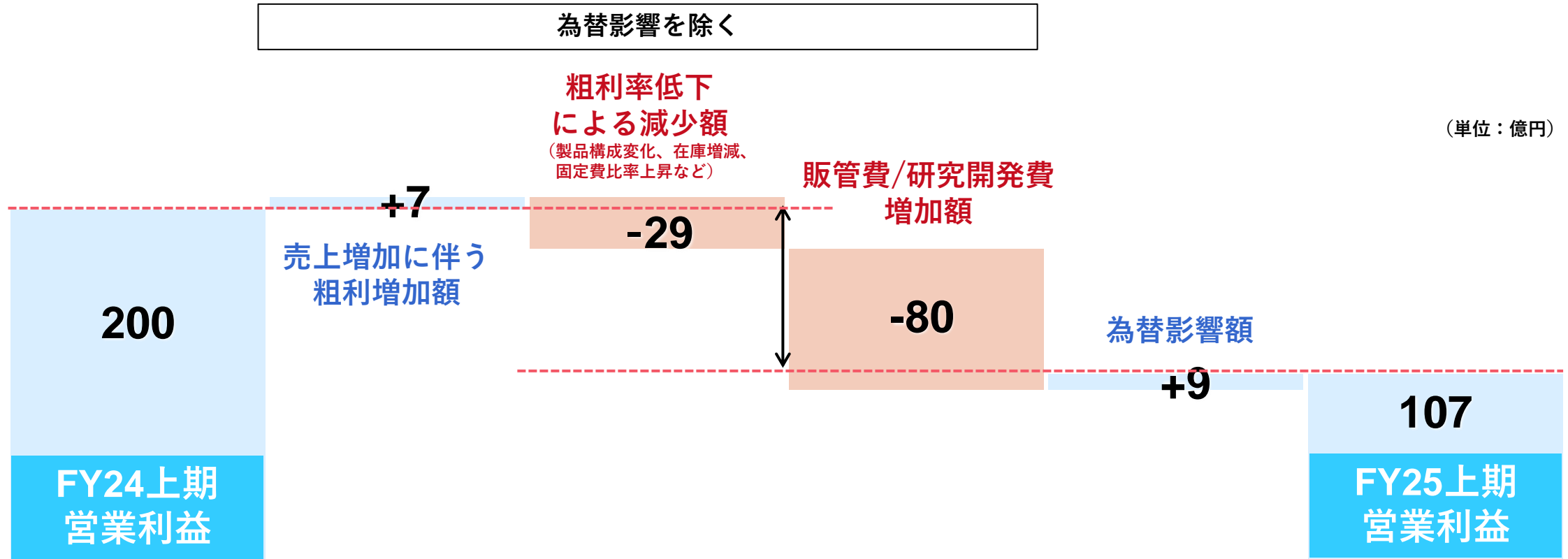


営業利益

(単位：億円)



利益変動要因（上期）FY24 – FY25



為替感応度/年 (1円変動時)		対前年比における 営業利益における為替影響額
1 \$	3億円	
1 €	1億円	9億円
1RMB	10億円	

\$:148.23 → 152.46
 € :160.16 → 161.62
 RMB:20.19 → 21.01

販売管理費・研究開発費の増加要因

(単位：億円)

	項目		コメント
M&Aの影響 +63	研究開発費	+17	NKTP+14 FI+3
	人件費	+17	NKTP+15 FI+2
	減価償却費	+3	NKTP+3
	その他販管費	+26	NKTP+9 のれん代+16
M&A以外 +21	研究開発費	+8	電子管事業+3 光半導体事業+2 その他(中央研究所含む)+2
	人件費	+7	人員増加、ベースアップにより増加 ※為替の影響もあり
	減価償却費	+6	本社経費(海外子会社含む)などで増加
	その他販管費	変動なし	経費抑制を徹底
	為替影響	-4	各項目に為替影響が含まれるため、影響額を控除

業界別売上高

医用・バイオ機器は金利高などの影響もあり需要回復に遅れがみられるが、半導体を中心とした産業用機器や分析用機器などで需要回復傾向にあり

(単位：億円)

	FY24 上期	FY25 上期 (計画)	FY25 上期 (実績)
医用・バイオ機器	337	339	302
産業用機器	349	359	375
分析用機器	100	108	127
学術研究	90	107	110
計測機器	56	48	50
輸送機器	28	28	24

前期比		計画比	
増減額	%	増減額	%
-34	-10.3	-36	-10.9
25	7.4	15	4.4
27	27.7	19	17.7
20	23.0	3	3.2
-5	-10.5	1	3.8
-4	-15.4	-4	-16.2



医用・バイオ機器

- 放射線検査装置
- 検体検査装置
- その他医用機器

■ 放射線検査装置

X線CT検査装置向け、歯科検査装置向けは欧米の金利高などの影響もあり最終需要の回復に遅れ



X線フラットパネルセンサ

■ 検体検査装置

血液検査装置向けは顧客の在庫調整の影響もあり需要減

遠隔病理診断用のスライドスキャナは日本での医療機関向けへの拡販、欧州での病院間ネットワーク拡大により需要増

■ その他医用機器

眼科用レーザーは、白内障手術の需要拡大などで欧米顧客への販売量の増加や新規製品への採用もあり需要増



超高速ファイバレーザー

(単位：億円)

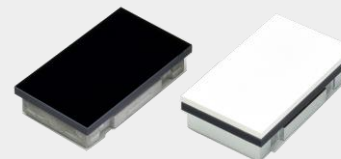
	FY24上期	FY25上期 (計画)	FY25上期 (実績)
放射線検査装置	210	195	178
検体検査装置	105	101	92
その他医用機器	21	43	31
医用・バイオ機器合計	337	339	302

医用・バイオ機器 今後の見通し



放射線検査

- X線CT検査装置、PET検査装置向けはFY25上期を底に徐々に需要改善傾向であるが、回復の状況は緩やか
- 歯科検査装置向けは競合環境激化しているが、欧州での新規ビジネス獲得もあり底打ち傾向がみられる



Siフォトダイオードアレイ



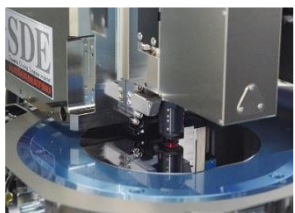
X線フラットパネルセンサ

産業用機器

- 半導体製造装置
- 非破壊検査装置
- FA機器

■ 半導体製造装置

ステルスダイシング™、半導体故障解析装置は生成AI向けで需要増



ステルスダイシング™

■ 非破壊検査装置

食品検査向けは国内外において検査需要増

車載用バッテリー検査向けはEV業界の不振もあり需要減

基板検査向けは微増



マイクロフォーカスX線源

■ FA機器

顧客側での在庫調整は適正化に向かう



LED

(単位：億円)

	FY24上期	FY25上期 (計画)	FY25上期 (実績)
半導体製造装置	213	238	236
非破壊検査装置	93	71	85
FA機器	31	27	32
その他産業用機器	11	22	21
産業用機器合計	349	359	375

産業用機器 今後の見通し

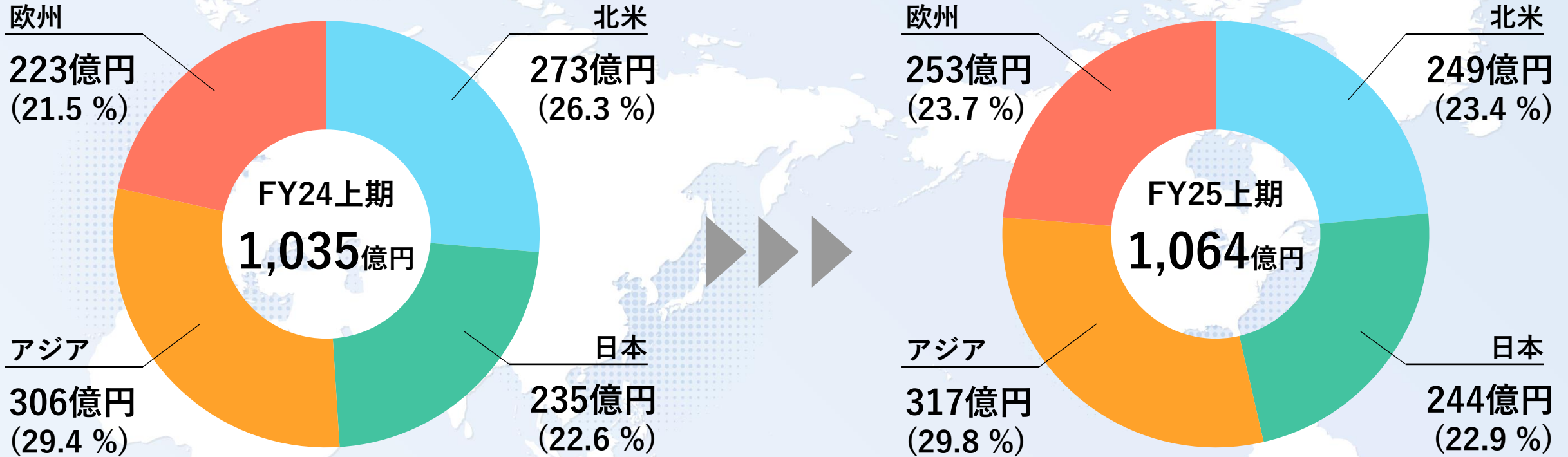
半導体製造装置

- 半導体検査装置用センサ、光源の需要増加継続
- 半導体故障解析装置はメモリ向けを中心に需要増加継続

非破壊検査

- 車載用バッテリー向けはアジアでの投資案件など徐々に回復の兆しあり
- 基板検査向けはEV向けの回復が緩やかであるが、AIサーバー向けで徐々に増加傾向

地域別売上高



(単位：億円)

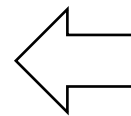
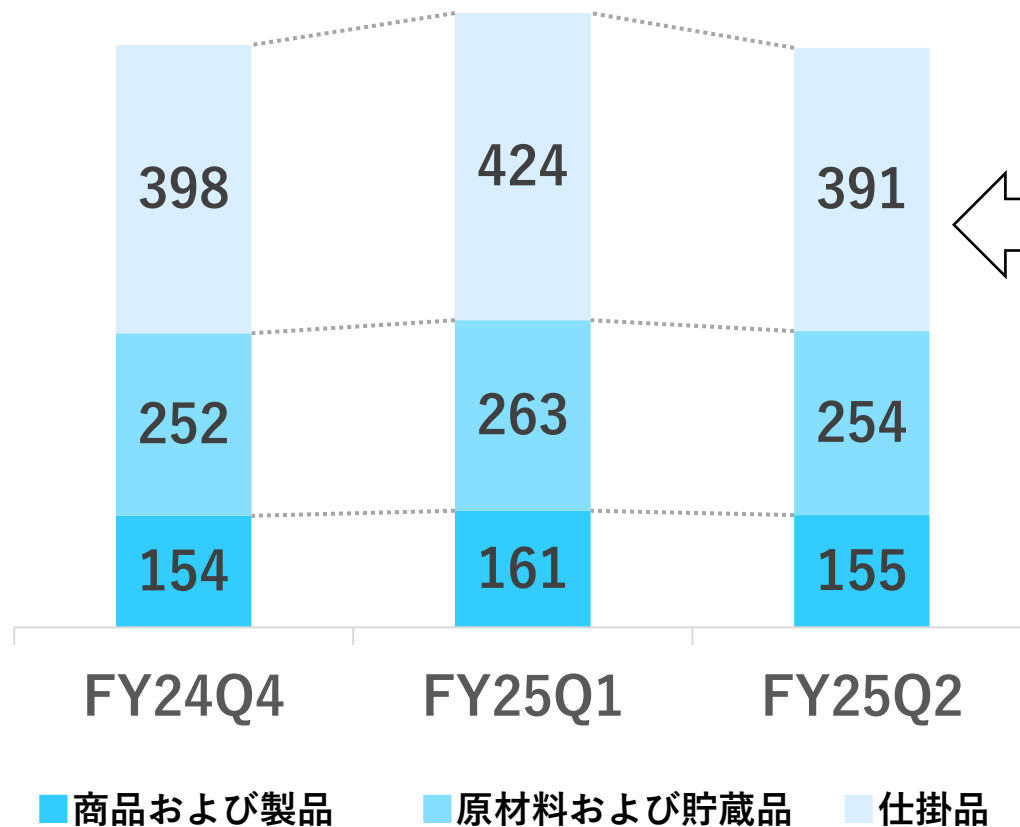
	FY24上期	FY25上期	増減	%
欧州	223	253	30	13.5
アジア (内中国)	306 (215)	317 (207)	11 (-7)	3.9 (-3.7)
日本	235	244	8	3.7
北米	273	249	-23	-8.7

棚卸資産の状況

CCC（キャッシュコンバージョンサイクル）短縮にむけた取り組みを開始

[棚卸資産推移]

(単位：億円)



FY25Q2において対前四半期比48億円の減少
材料仕入の抑制、Q2売上増加による製品出荷の増加に起因

[CCC]

FY24Q4	FY25Q1	FY25Q2
327日	324日	301日

棚卸資産回転日数の削減を主に短縮を図っていく

Agenda

01 | 業績概要

02 | 業績予想

03 | TOPICS

通期業績予想

通期業績予想に変更なし

相互関税の直接的な影響は軽微であるが、間接的な影響は不透明

(単位：億円)

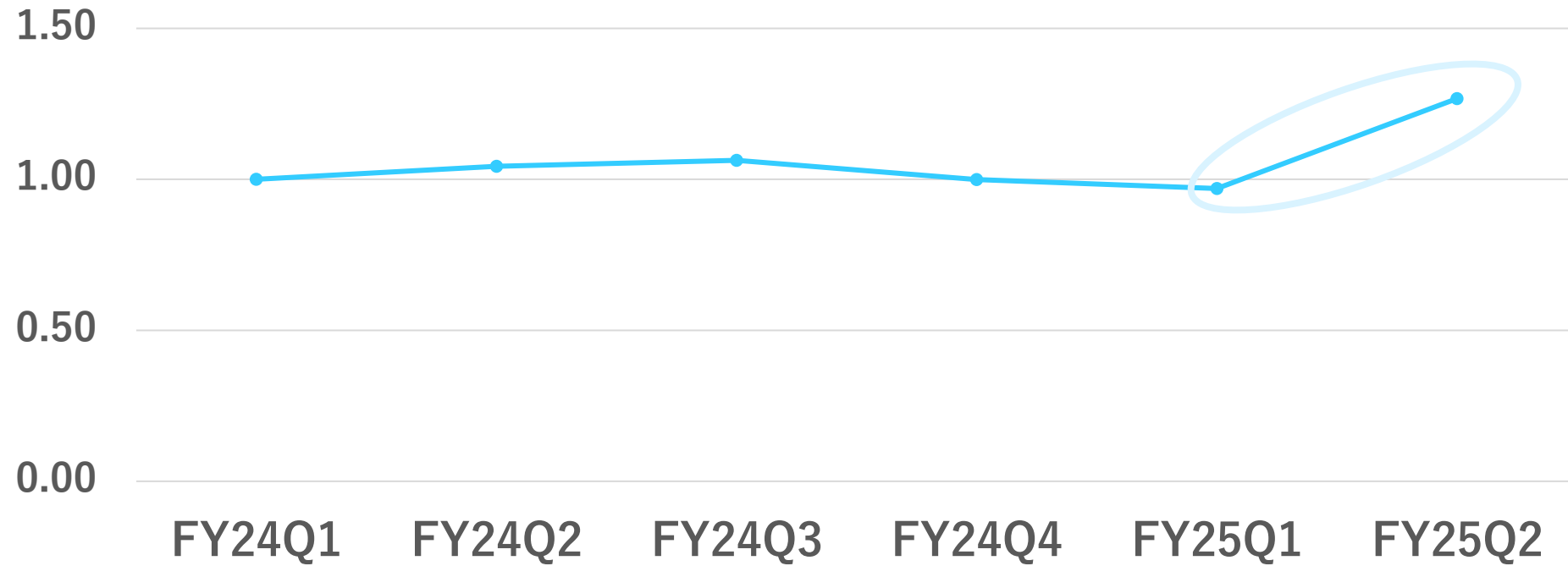
	FY24	FY25	
売上高	2,039	2,189	
売上総利益	1,038 (50.2 %)	1,099 (50.2 %)	
営業利益	321 (15.7 %)	241 (11.0 %)	
当期純利益	251	180	
為替	1 \$ (¥)	150.54	145.00
	1€ (¥)	163.16	155.00
	1RMB (¥)	20.62	20.00

前期比	
増減額	%
150	7.4
61	5.9
-80	-24.9
-71	-28.3

受注推移

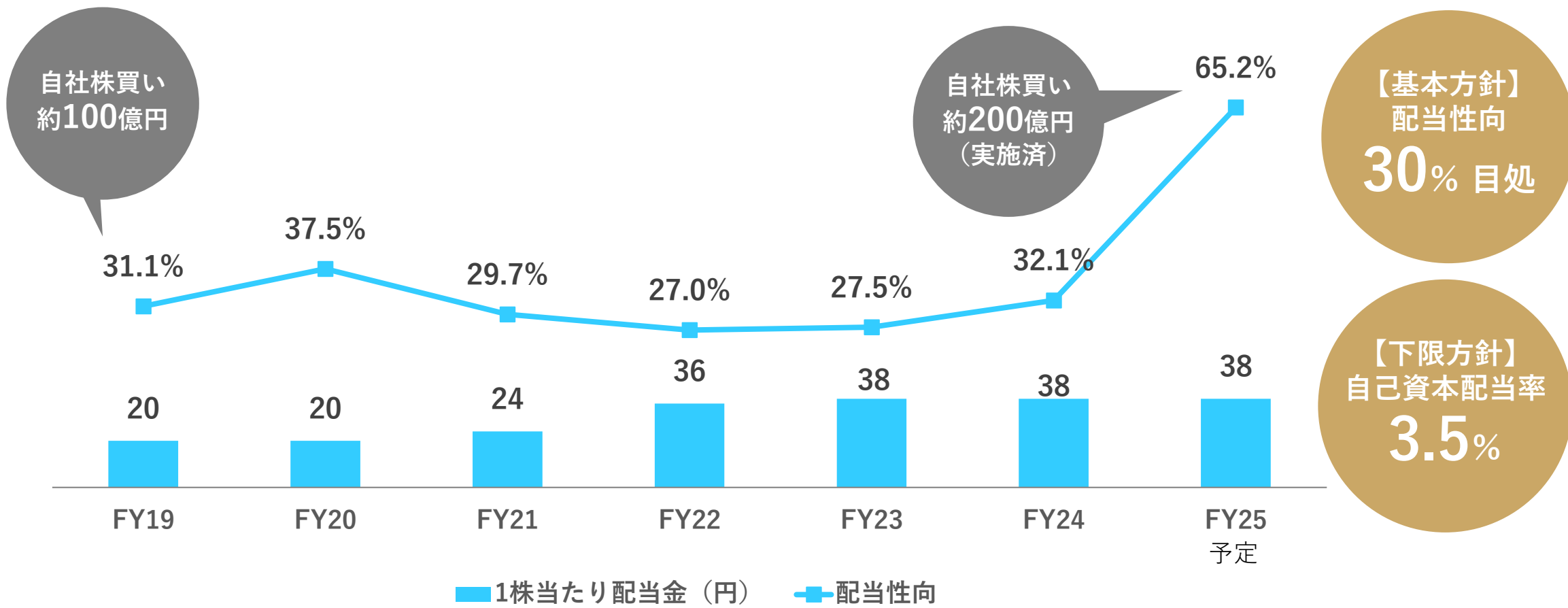
医用・バイオ機器、産業用機器など主要な業界にて受注増加

受注トレンド (FY24Q1 基準)



株主還元

安定配当を基本とし、適宜自社株買いも検討



※2025年10月に1株→2株の株式分割を実施した影響を考慮して記載

Agenda

01 | 業績概要

02 | 業績予想

03 | TOPICS

成長戦略の進捗

1

X線CT/PET用検出器

新技術開発でトップシェア成長

2

半導体故障解析装置

新しいトレンドによる成長

3

半導体検査装置向け製品

装置メーカー(お客さま)との新製品開発
高い参入障壁と高付加価値による高利益製品

4

NKT Photonics社

売上高480億円(10年後)の潜在力

5

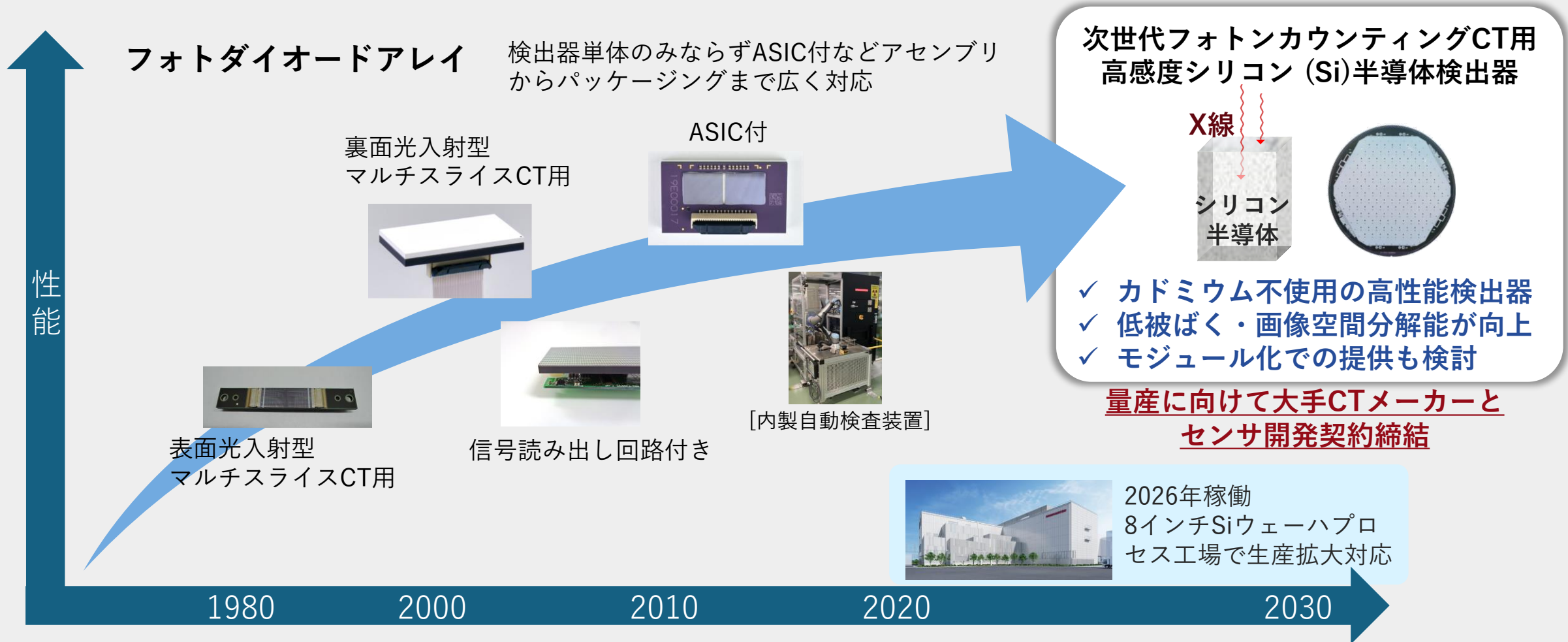
高付加価値モジュールビジネス

カスタマーイン/マーケットイン

1

X線CT用検出器 -新技術開発でトップシェア成長

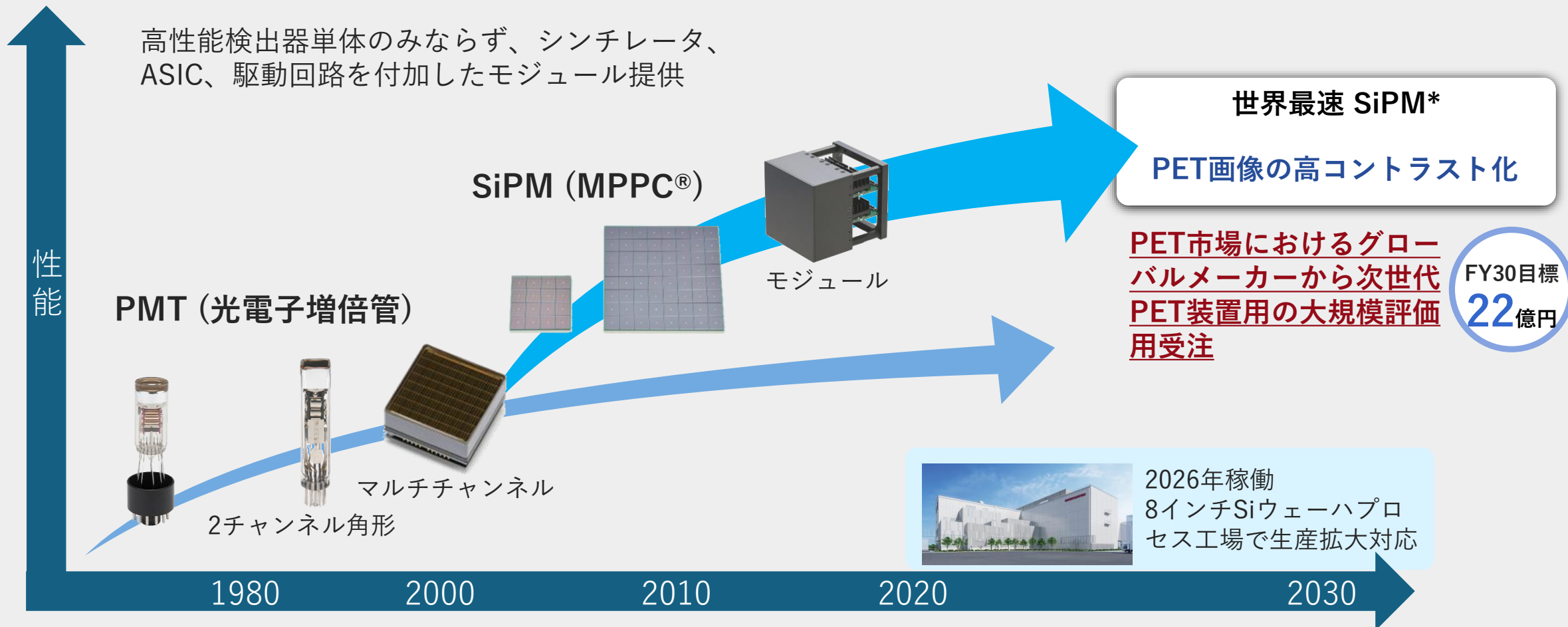
技術・製品ロードマップ 要求に応じさまざまな仕様・形状に対応



1

PET用検出器 -新技術開発でトップシェア成長

技術・製品ロードマップ 高性能検出器でPET画像向上



※最速のコインシデンスタイミング分解能を持つSiPM (2025年3月時点での市販品において)

2

半導体故障解析装置 - 新しいトレンドによる成長

AI、データセンターなどの技術進展に伴う、3次元や微細構造をもつ先端半導体デバイスの需要増加



Dual PHEMOS®-X

半導体デバイスの故障に起因する発光・発熱などをとらえて故障箇所を特定する高解像度エミッション顕微鏡

FY25計画
110億円

FY27目標
150億円

新技術・新製品開発、製造能力増強により市場需要に対応

新トレンド① プロセス開始時の全数発光/発熱検出

単機能（発光/発熱）解析

共同開発



パイロットラインの故障トレンド解析

量産時の歩留まり向上のためウェーハの全数検査

パイロットラインごとに発熱解析装置 + 発光解析装置
それぞれ複数台使用
～15億円/パイロットライン



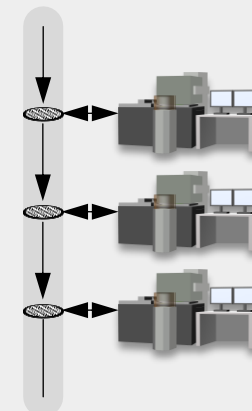
製造能力強化 (2026年稼働)

韓国工場新設

新トレンド② 量産ラインの故障解析を全自動化

全自動検査システム

共同開発

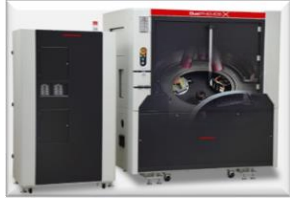


フル機能搭載解析
発光 + 発熱 + レーザ + プロバー + ウェーハ自動搬送
6億円～7億円/システム

2

半導体故障解析装置 - 新しいトレンドによる成長

AI、データセンターなどの技術進展に伴う、3次元や微細構造をもつ先端半導体デバイスの需要増加



Dual PHEMOS®-X

半導体デバイスの故障に起因する発光・発熱などをとらえて故障箇所を特定する高解像度エミッション顕微鏡

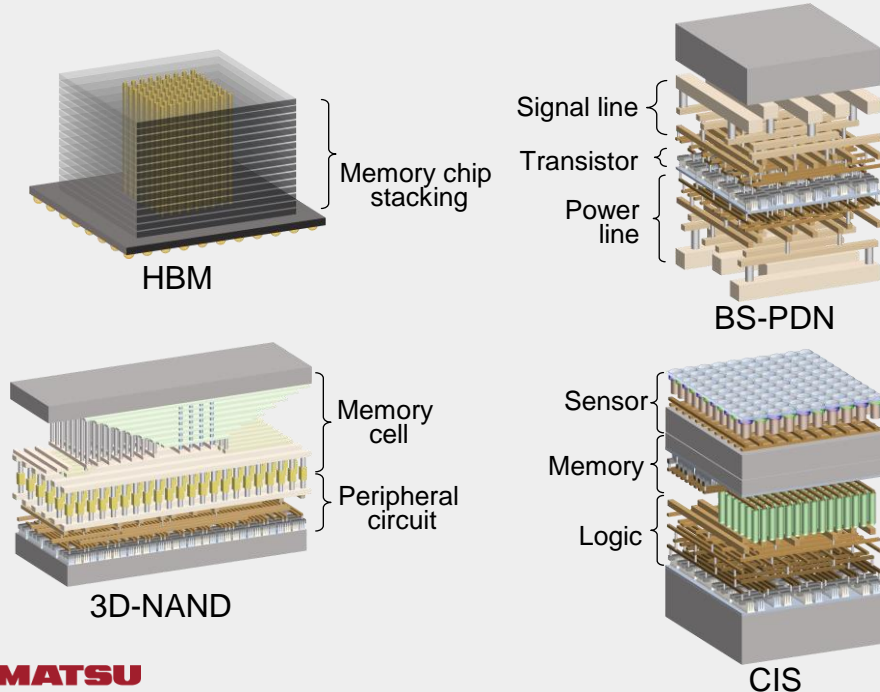
FY25計画
110億円

FY27目標
150億円

新技術・新製品開発、製造能力増強により市場需要に対応

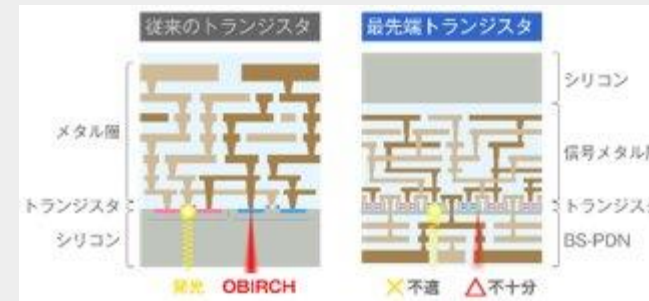
先端3Dロジック・3Dメモリ分野でシェア拡大

複雑化する先端ロジック・メモリ構造



課題

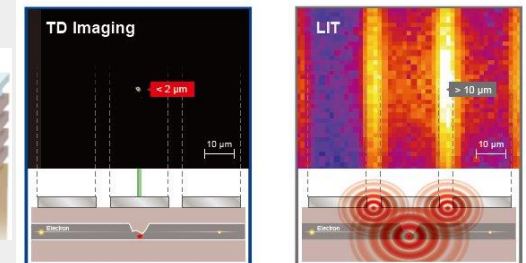
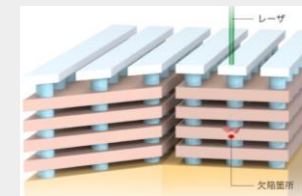
従来手法では、先端ロジックの故障箇所検出困難



発熱解析計測モジュール

Samsung共同開発

熱による金属の反射率変化から発熱をとらえる独自のレーザ新技術を開発



3

半導体検査装置向け製品 – 装置メーカー(お客さま)との新製品開発

製品ラインアップ

光センサ



TDI-CCD
イメージセンサ



光電子増倍管



電子線検出
高速蛍光体

広帯域(高波長域)光源



キセノンランプ



レーザ励起
プラズマ光源



スーパー
コンティニューム
光源

製品開発プロセス

お客さまとの
深い対話

5年～10年先
に求められる機能・性能設定

新技術の
開発

光源・光センサのカスタムメイド

高い参入障壁と高付加価値による高利益率製品

装置メーカー(お客様)との開発中製品

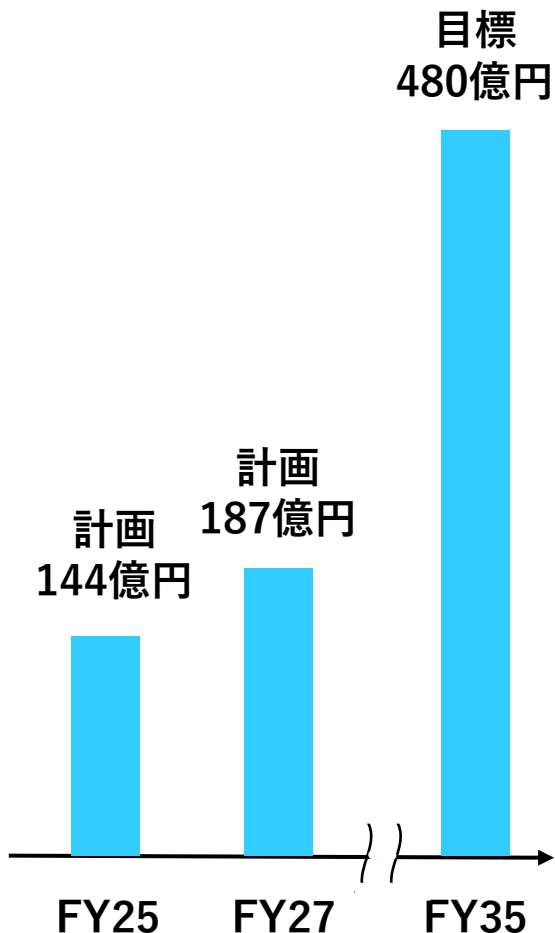
真空紫外から赤外までの
連続スペクトルをもつ
新規光源

FY32目標
40億円

4

NKT Photonics社 –売上高480億円(10年後)の潜在力

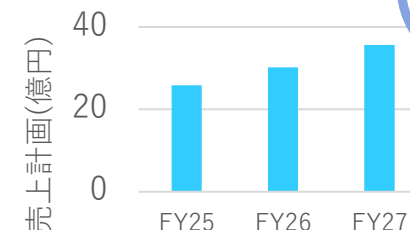
売上計画および目標



ターゲット市場

眼科用レーザー治療

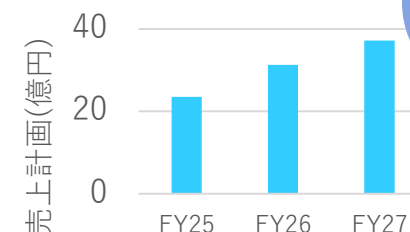
FLACS(フェムト秒レーザー支援白内障手術)にて、メスに代わる精密な切開
眼科治療レーザー装置メーカーTOP10*の内、4社にレーザーを納入し、さらに他社と商談中



FY30目標
40億円

量子コンピュータ

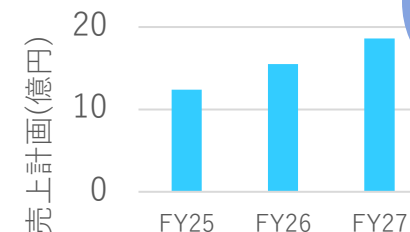
ファイバレーザと周波数変換の組み合わせ技術を活用
特定波長における高信頼・高出力レーザーシステムの実現へ



FY30目標
70億円

セキュリティ

ドローンを無効化するkWファイバレーザとターゲット・イルミネーション・レーザの開発・製造



FY30目標
80億円

(主要顧客：Rheinmetall)

※当社調べ

5

高付加価値モジュールビジネス -カスタマーイン/ マーケットイン

モジュールビジネス推進室

X線ビジネス戦略室

量子ビジネス戦略室

カスタマーイン

お客様のニーズ



社内技術の融合による高付加価値
カスタムモジュールの開発



お客様へ提供

マーケットイン

戦略的重要技術の社内連携

戦略的市場の深い理解からニーズを先取り



連携を前提とした新技術開発

システムモジュールの開発



既存・新規市場へ提案

5

高付加価値モジュールビジネス - カスタマーイン

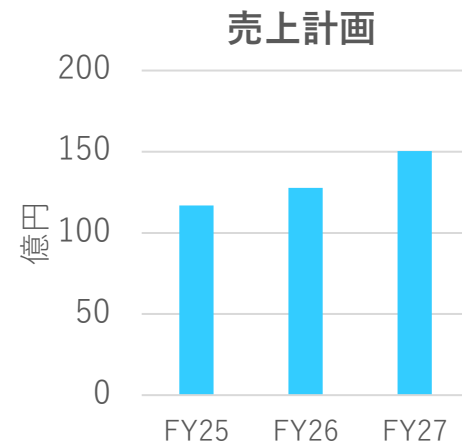
モジュールビジネス推進室

当社デバイスの評価用モジュール・アセンブリ提供 / 視野が広がるお客様からのカスタム依頼に対応

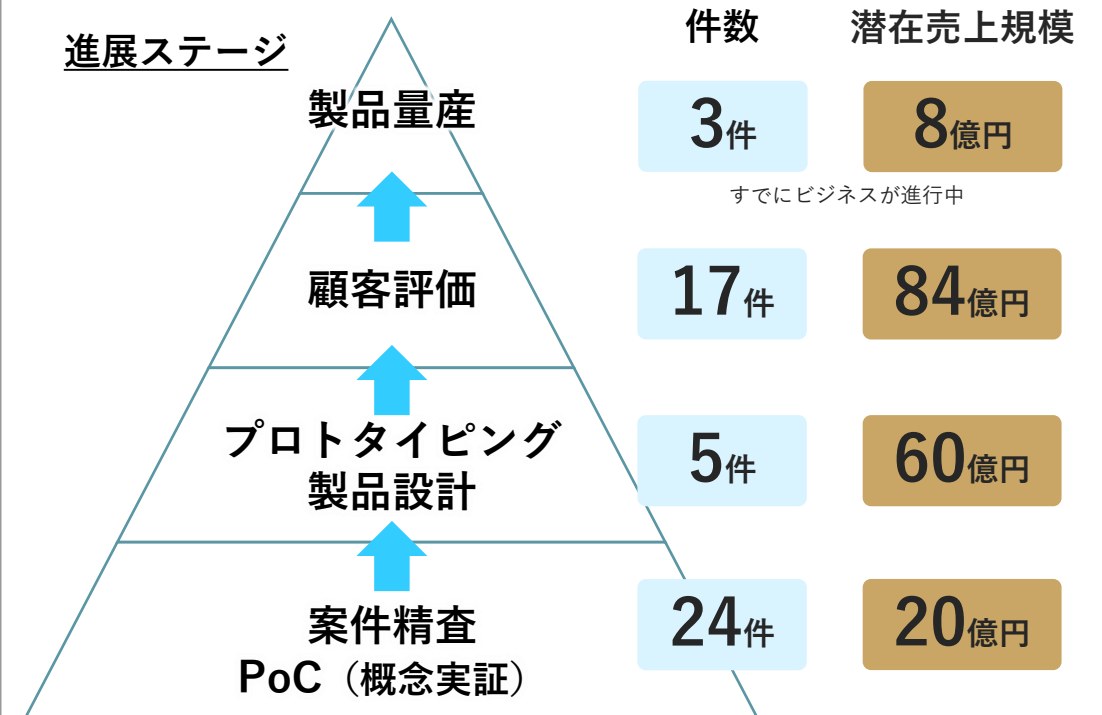
高付加価値モジュール例



高付加価値モジュール ビジネスの進展



高付加価値モジュール 開発案件 (2025年4月時)

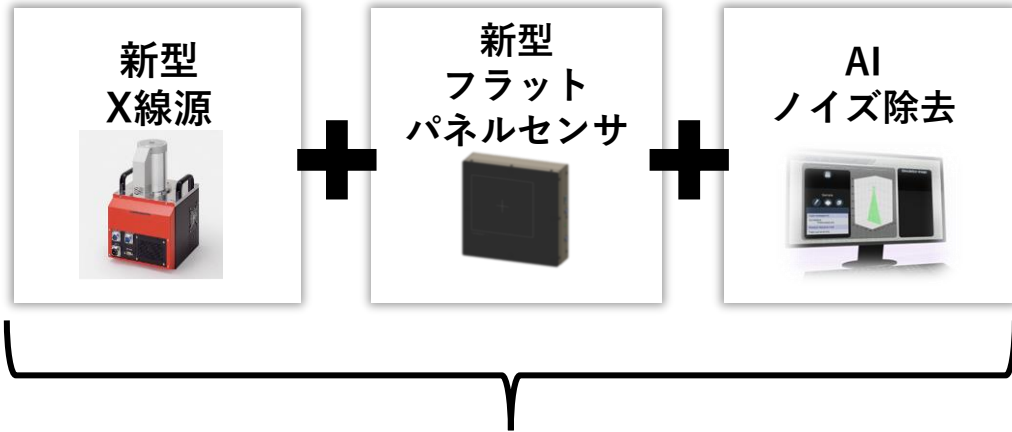


5

高付加価値モジュールビジネス -マーケットイン

X線ビジネス戦略室

市場ごとに最適化されたシステムの提供
連携を前提とした新製品開発が進行



市場ごとに最適化された連携システム



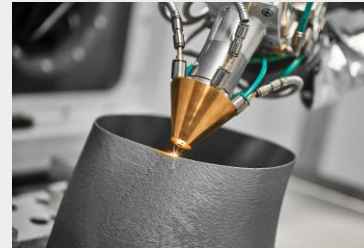
基板検査市場



次世代バッテリー
検査市場



半導体製造市場



3次元加工市場



セキュリティ市場



食品検査市場



デンタル市場

注目している **7** 市場

5

高付加価値モジュールビジネス -マーケットイン

量子ビジネス戦略室

連携を前提とした新技術開発
手法・顧客ごとに最適化されたユニット
スケーラビリティを意識した構成

量子コンピュータに最適化された新技術開発



演算能力向上には拡張性が重要
量子コンピュータ制御システムモジュール

光をベースとした量子コンピュータ市場を牽引

中性冷却原子方式

イオントラップ方式

光量子方式

国との連携を意識

量子コンピュータメーカーとの連携

Quantum Machinesと浜松ホトニクスが量子コンピューティングの制御強化に向けて提携
2024/04/30

IonQ Announces Partnership with NKT Photonics for Next-Generation Laser Systems to Power Future Quantum Computers
2024/11/07

成長戦略の進捗

1

X線CT/PET用検出器

新技術開発でトップシェア成長

2

半導体故障解析装置

新しいトレンドによる成長

3

半導体検査装置向け製品

装置メーカー(お客さま)との新製品開発
高い参入障壁と高付加価値による高利益製品

4

NKT Photonics社

売上高480億円(10年後)の潜在力

5

高付加価値モジュールビジネス

カスタマーイン/マーケットイン

www.hamamatsu.com